

# 広報あじす

お知らせ版



AJISU

平成元年

No.207

7/20

広報あじす 毎月5日 発行

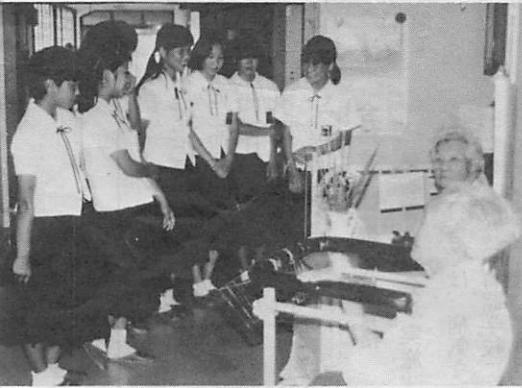
お知らせ版 每月20日 発行

山口県吉敷郡阿知須町

発行 阿知須町役場

電話 4111番(代) 754-12

印刷 よしの印刷株式会社



ひとときの歓談  
►オムツの整理



▲お年寄りは笑顔がいっぱい

## 阿中生が 白松苑を慰問

**盛んな拍手  
ボランティア**

七月十五日午後、阿知須中学校二年二組（担任・西川知利教諭）の生徒と生徒会の役員、合計四十人が、同校のすぐそばにある老人ホーム白松苑のお年寄りを慰問しました。これは、生徒会活動の一つとして、生徒たちがボランティア活動として自主的に行っているもので、ことしは六月から毎月一回、一、二年生の各クラスが持ちまわりで年間八回慰問することを計画、七月は二回目。

当日は、グループで各部屋を訪ね、「元気ですか」「どんなことが楽しいですか」など、お年寄りに声をかけたり、質問を受けたりして、なごやかなひとときを過ごしました。また、オムツの整理を手伝う生徒たちもおり、ボランティア活動に精を出していました。その後、ホールで校歌や合唱、合奏などを披露したり、ケン玉遊びをしてみせたりして、盛んな拍手を受け、慰問する者もされる者も満足そうな顔をみせていました。

白松苑には現在、介護をするお年寄り（特別養護老人）と自分で身のまわりのことができるお年寄り（経費負担の老人）八十人が入苑中です。

七月十五日午後、阿知須中学校二年二組（担任・西川知利教諭）の生徒と生徒会の役員、合計四十人が、同校のすぐそばにある老人ホーム白松苑のお年寄りを慰問しました。これは、生徒会活動の一つとして、生徒たちがボランティア活動として自主的に行っているもので、ことしは六月から毎月一回、一、二年生の各クラスが持ちまわりで年間八回慰問することを計画、七月は二回目。

当日は、グループで各部屋を訪ね、「元気ですか」「どんなことが楽しいですか」など、お年寄りに声をかけたり、質問を受けたりして、なごやかなひとときを過ごしました。また、オムツの整理を手伝う生徒たちもおり、ボランティア活動に精を出していました。その後、ホールで校歌や合唱、合奏などを披露したり、ケン玉遊びをしてみせたりして、盛んな拍手を受け、慰問する者もされる者も満足そうな顔をみせていました。



し尿浄化槽のうち、二十人槽以下の法定検査料が四月から千円引き上げられ、四千五百円になっています。

家庭や事業所の水洗便所施設の「し尿浄化槽」は、年に一度は処理能力検査を受けることが義務づけられています。このうち二十人槽以下の検査料が検査器材、薬品、検査員養成の費用増大を理由に値上げされたものです。

浄化槽が正常に機能しないと汚水がそのまま水路等に流出して、水路を汚したり、悪臭を放つ原因になります。一年に一度は検査するように心がけましょう。

本町での検査認定業者は公益社です。

阿知須婦人会では、「家庭からお母さんがいやがるゴキブリを追い出そう」ということでゴキブリ退治の「だんご教室」を開きます。

△日時 八月九日（水）午前十時から二時間  
△場所 町公民館調理実習室  
△対象者 小学生  
△参加費 無料  
△定員 五十人  
△申し込み 八月五日（土）までに町保健衛生課（有線二一二三、二四一一）へ。電話でも結構です。

ビニール・プラスチック類のごみ

緑の袋から白い袋へ

河田礼子、長谷川ズエ、竹原興子、田辺善子、中野弘子、浜村順子、坂井達穂、上野一秋、中尾廣子、大澤洋子、大浜倫子、下河節子、山崎輝彦、村重多美子、岡田ちえみ、橋本清澄、長尾美智子、大田行紀、日美千代、重本圭子、井筒井信、西村二三世、松野久枝、谷原絢子、田辺敬子、伊藤信正、山田礼子、田辺道恵、中野智子、藤重スミエ、新谷政子、井関乃里子、大谷しげ

み、箱田静恵、有本千佐子、内田陽子、古谷澄江、茂木英子、西村敏之、村長正悟、兼重隆文、浜西久美子、岡本克明、橋本敦義、安田一利、江口力、繩田信雄、高杉道子、桂伸子、宮重秀子、重永美由紀、日美千代、重本圭子、井筒井信、西村二三世、松野久枝、谷原絢子、田辺敬子、伊藤信正、山田礼子、田辺道恵、中野智子、藤重スミエ、新谷政子、井関乃里子、大谷しげ

ことになっています。

献血ありがとうございます

（6月23日分・敬称略）

印鑑は自分の権利や財産を守り、育てる役をします。心がけて用いることが大切です。

その印鑑は、市町村役場に登録したものを「実印」そうでない印鑑を「認め印」または「三文判」などといいます。

しかし、どんな印鑑でも効力が同じになることがあります。

印鑑は自分の権利や財産を守り、育てる役をします。心がけて用いることが大切です。

印鑑は自分の権利や財産を守り、育てる役をします。心がけて用いることが大切です。

ところで、「実印」は市町村役場に印鑑登録すること

で、法的に認められ、この印

印鑑の文字は、氏名・氏名

を押した書類は本人の意志に

相違ないものとして扱われま

す。相続関係、金融機関のお

金の借り入れなどには絶対必

要となります。

そこで、この登録の手続き等について記してみましょう。

印鑑登録するときは、自分自身

で申請してください。代理人

の場合はがきで本人に確認

します。

印鑑登録するときは、

